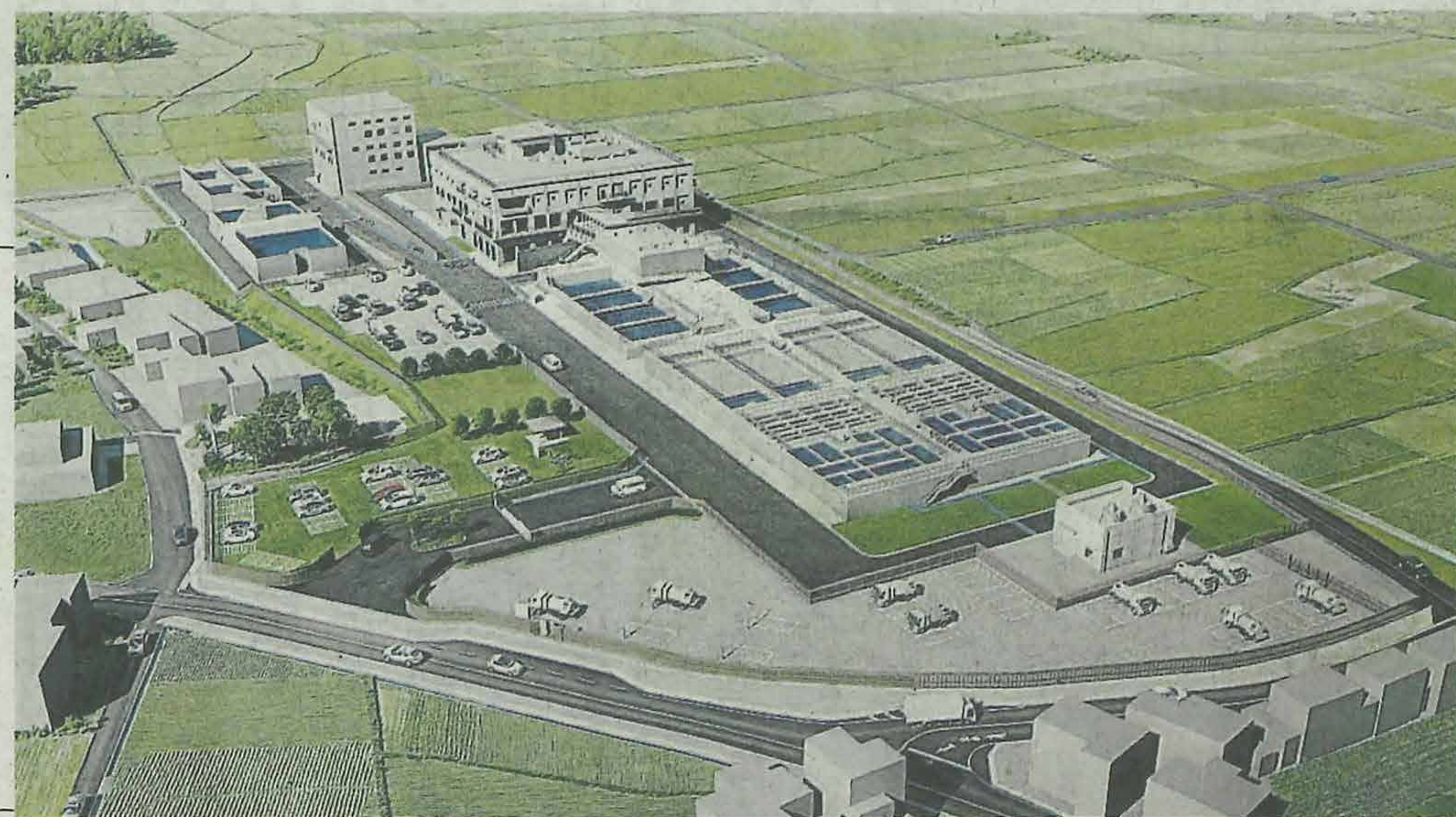


甲山浄水場 建て替え移転へ 市、31年に新施設の供用開始



甲山浄水場(姫路市豊富町豊富)の老朽化を受けて開設する新浄水場(同)について、同市上下水道局が完成イメージ図を公表した。供用開始は2031年4月を予定する。

姫路市豊富町に新設される浄水場の完成イメージ図(南東側から望む)＝同市提供

甲山浄水場は1970年に完成。市立浄水場23カ所のうち最大施設で、供給水量全体の3分の1をカバーする。経年劣化や耐震性の不足により、約700坪南に建て替え移転する。

マダ(姫路市網干区)など5社で構成する。事業費は24.6億8125万円。2026年度中に着工し、1日の処理能力(6万立方メートル)と、急速ろ過方式は既存と同じという。

設計と建設は共同企業体(JV)が担い、大成建設(東京)や総合建設業「ハ

現浄水場に併設し、小学生の校外学習などで利用された「水の館」は27年度末に閉じる。新浄水場に後継施設はないが、見学を受け入れる。(有島弘記)

ールで 優秀賞

吟醸と特別純米

食文化の中で受け入れられつつある」と喜ぶ。

クラ・マスターはフランスで2017年から開かれており、今年は1083銘柄が出品。酒種や精米歩合別の16部門でそれぞれプラチナ賞、次いで金賞が複数

が決勝に進出し、そのうち30銘柄が優秀賞となる。

同酒造は昨年初めてクラ・マスターに出品し、純米大吟醸がプラチナ賞に。今年2銘柄がさらに上位の賞を受けた。杜氏の佐藤直樹さん(60)によると、昨年は猛暑で米質が硬いため吸水やころじの管理で試行錯誤を重ねたという。「純米大吟醸は米の味わいと吟醸の香りの調和を、特別純米は食事と合う穏やかな香りを心がけた」と話す。

作家・澤田瞳子さん講演会

8月7日 姫路文学館、参加募る

直木賞作家・澤田瞳子さんが8月7日午後1時半から、姫路市山野井町の姫路文学館で講演する。主催する同文学館が、参加者を募集している。

同文学館は姫路ゆかりの国民的作家・司馬遼太郎さんの業績顕彰のため、誕生日の8月7日を「メモリアル・デー」として、毎年講演会を開いている。

澤田さんは2010年に「孤鷹の天」でデビュー。13年に「満つる月の如し 仏師・定朝」で新田次郎文学賞、21年の「星落ちて、なお」で第165回直木賞を、それぞれ受賞した。当



澤田瞳子さん
(©新潮社)

日は「歴史小説とはなにか」をテーマに語る。

無料。申し込みは、往復はがきか同文学館のホームページで受け付ける。郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号と「第27回司馬遼太郎メモリアル・デー参加希望」と書き、7月16日(必着)までに姫路文学館(〒670-0021 姫路市山野井町84)へ。応募多数の場合は抽選。同館☎079・293・8228

協会 姫路展



大賞 [日本陶芸美術協会賞]
月煌彩器 (坂倉善右衛門)

関連イベント

トークイベント

参加費無料/事前申込

「近世城郭の維持管理について」

日時 7月20日(日) 13:30~16:00
場所 日本城郭研究センター 2階大会議室
登壇者 小林 隆 (彦根市彦根城世界遺産登録推進室長)
佐々木 孝文 (鳥取市教育委員会文化財課長)
福田 剛史 (姫路市教育委員会文化財課)

定員 180名
申込 兵庫県立歴史博物館HP (6月8日(日)~7月14日(月))

描かれた城お城下町 築かれた城・理想の城・古

江戸時代には、実在するものから、架空のものに至るまで、さまざまなお城が描かれてきました。本展では、江戸城や大坂城、二条城といった幕府のお城から、姫路城をはじめとする各地のお城、さらには当時使われなくなっていた古城も登場します。当時の社会を考えながら、そうした資料が作成された背景を探ってみましょう!